

普天間基地の大村移設 大村市とそろって川棚町も反対を

久保田かずえ町議

沖繩には、日本全体の基地の七五%、沖繩本島の一八%の米軍基地がある。

四月二五日、普天間基地の閉鎖、撤去、県内移設反対を掲げて沖繩知事、県内四一自治体すべての市町村長が参加し九万人が結集した県民大会が開かれた。これが県民の総意、島ぐるみの総意と確認されました。

四月二七日に開かれた 全国知事会で、一、沖繩米空軍嘉手納基地の戦闘機の訓練、普天間基地所属のヘリ部隊と海兵隊地上部隊との合同訓練を全国に移転する考えが示されました。

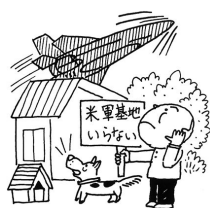
「移設」先として浮上した大村市にある長崎空港は海上自衛隊基地がある民間共用空港です。自衛隊ヘリコプターによる騒音被害が四〇年以上にわたって続いてきた。

大村市は、機能の一部移転も含めた同基地への移設と、同基地における訓練実施については絶対反対としています。

川棚町としては、町民の治安、家畜に対する騒音問題など考え

ると大村移設を認めることはできない。

川棚町の町長として町民の暮らしを守る立場から反対の意思を表明すべきと考えるが。



町長

普天間基地の移設先が大村市に決定されることで川棚町民の安全、安心が 担保できないようであれば反対せざるを得ない。

現在は、移転案もはっきりしたものではなく動向を見守りたい。

久保田かずえ町議

大村空港は大村湾をはさんで佐世保がある。

エルキヤックが配備されたり、弾薬庫もあり利用しやすい場所にある。

そういうことを想定して考えておく必要がある。牛農家、養鶏場の方々も騒音で被害をこうむる。

町内で署名をお願いしたが、騒音、治安、災害、どれをとっても

反対の方が多かった。その時の情勢で判断するのではなくそういう立場に立つ考えはないか。

町長

今は全く白紙の状況。何らかの行動をとるつかという状況ではない

久保田かずえ町議

是非、その時には大村市と足並みをそろえて反対してほしい。

表面から続く

事務、事業の見直しの一環として給食調理業務の民間委託化等の計画を推し進めている。

久保田かずえ町議

川棚町次世代育成支援後期行動計画では、「食事を通じた豊かな人間性の形成、心身の健全化を図るため学習、体験機会の確保の周知・啓発に努める。また、本来なら家庭で行われるべき食育が、なおざりにされつつある」とあります。食の大切さを伝えるには行政が責任を持つべき。民間委託はそれと相

反することではないか。

教育長

食育を推進することは必要。矛盾するとならえ方になると思うが厳しい財政の中でしていかなければならない部分もある。



久保田かずえ町議

どうして子どもばかりをターゲットにするのか。保育所の民間委託、学校用務員、そして学校給食センターのこと。なぜ子育て支援、子供たちに手厚くと言いつつ一方で子どもたちがターゲットになるのか。

民間委託は、営利を目的とするそのためには金のかからない材料・外国産の安い材料・鮮度の落ちる冷凍食品等使いかねない。子どもたちにとって健全で、栄養バランスを考えれば直営で町がやっていくべき。

教育長

食の安全・質の低下、そういうものをしっかりクリヤーした形でない民間委託は考えら

れない。

久保田かずえ町議

子どもの健やかな発育にかかわるためには公務労働者として給食を充実させるべきである。

昨年もまた、産地偽装や、汚染米、賞味期限のごまかし等、安全な食料とは程遠いものが学校給食に流通した。よりよい学校給食を目指すことはそこで働く調理師・栄養士の資質にかかわっていると思う。子供の健やかな発育にかかわるためにも公務労働者として教育の一環としての給食を発展させなければならぬ。そのためにも、民間委託計画は見直すべき。

教育長

献立の作成は、町が直接責任を持って実施すべきものであるから委託の対象としない。物資の購入、調理業務等における衛生、安全の確保については十分な管理体制を設ける。臨時職員についても十分な研修を行う。

久保田かずえ町議

ベテランの調理師さんの生活設計が壊れていく。